



し ば は ら
〈学校教育目標〉 明るく さわやかな子の育成

令和8年1月8日 №.478

さいたま市立芝原小学校

さいたま市緑区芝原2丁目5番地
TEL 873-4133 FAX 810-1123
Web <http://shibahara-e.saitama-city.ed.jp>

2026年の成長に向けて

校長 砂庭 幸子

明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様が穏やかに新しい年を迎えたこととお慶び申し上げます。新学期が始まり、子ども達の元気な声が学校に戻ってきました。大きな事故もなく、無事に3学期を始められることを本当にうれしく思います。まだまだ寒い季節ですが、「冬来りなば、春遠からじ」ということわざのように、厳しい寒さを乗り越え、2026年も「明るくさわやか」に過ごしていければと思っております。

さて、2学期末に「浦和レッズ ハートフルクラブ」によるサッカー教室が6年生対象に行われました。1時間目には、落合キャプテンによる講話がありました。その中で、落合キャプテンは、「一生懸命」「楽しむ」「思いやり」の3つのキーワードについて話されました。たとえシュートが決まらなくても、どうすればシュートが決まるのかしっかり考え、考えながら一生懸命やっている子が上達するとおっしゃっていました。どんなに辛くとも、しんどくてもあきらめず、一生懸命取り組むことで楽しめるようになり、どんどん成長していくとのことでした。また、常に相手のことを考えて接する思いやりの心も大切であると話されました。続いて、2・3時間目には校庭で思いっきり体を動かしてサッカーを楽しみました。校庭には歓声や応援の声が響いていました。人から言われたのではなく、自分が心から楽しんだり、喜んだり、人のために何をしようか考えたりすることがとても大事だということを感じました。芝原小学校の子ども達には、今年もぜひ自分の心を大切にし、何事にも一生懸命取り組んで成長していってもらいたいと思います。

3学期は1年のまとめの時期となります。52日の短い学期ですが、子ども達には、各学年の学習内容について、苦手な部分にも根気強く取り組み、確実に身に付けてほしいと思います。また、人との関わりを通して主体的で協働的に学ぶ力ややり抜く力を高め、次の学年で理想とする自分の姿を目指して努力を積み重ねてもらいたいと考えています。そのためにも全教職員が一丸となって一人ひとりに寄り添った指導・支援をしてまいります。

保護者、地域の皆様には、今年も本校の教育活動に御理解・御協力をいただけますよう、重ねてお願ひいたします。